

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学皮膚科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 1月

福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 猪狩翔平

■ 研究課題名

福島県立医科大学附属病院皮膚科で経験した腋窩 Paget 病の臨床および病理学的検討

■ 研究期間

2026年1月（承認後）～2026年12月31日

■ 研究の目的・意義

腋窩 Paget 病は、乳房外 Paget 病の中で腋窩に発症する、皮膚悪性腫瘍の疾患です。乳房外 Paget 病の大部分は外陰部や肛囲に認められるが多く、腋窩にもみられることは稀であり、報告が少ないです。

診断確定には皮膚生検の検査が必要であるため、湿疹として加療され診断が遅れることも多いです。今回、福島県立医科大学で過去 20 年近くの間を経験した本症例の臨床像を後方視的に検討し、臨床所見、発症時期、発症から診断までの期間原因（外傷や外的刺激、併存疾患など）、治療および経過について詳細に検討します。また皮膚組織を用いて、外陰部 Paget 病の組織と比較し、病態についての検討も行います。本検討は希少疾患である腋窩 Paget 病の実態、臨床像、組織像を多面的に検討することで、本症のより深い理解に繋がりたいと思っております。

■ 研究対象となる方

- ①2007年1月から2025年12月までに福島県立医科大学附属病院皮膚科で腋窩 Paget 病と診断された患者様。
- ②2007年1月から2025年12月までに福島県立医科大学附属病院皮膚科で外陰部 Paget 病と診断され加療された患者様。

が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から、1.年齢・性別、2.発症要因(外傷、外的刺激、併存疾患など)、3.発症要因から発症までの期間、4.発症部位、5.治療方法、6. 病理学的組織などの所見を収集し、解析を行います。発症要因の頻度、発症期間の差など検討をします。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年2月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学皮膚科学講座であり、研究責任者は皮膚科学講座 猪狩翔平です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学皮膚学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 担当：猪狩翔平

電話: 024-547-1309 FAX: 024-548-5412

E-mail: shohey19@fmu.ac.jp